

## 参議院議員選挙結果に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 家次 恒

自民・公明の与党が改選議席の過半数を確保したことは、国民の多くが現政権の政策運営を評価するとともに、政治の安定継続を選択した結果であろう。

足元の景気は比較的堅調に推移しているが、米中貿易摩擦や地政学的リスクの高まりによる悪影響に加え、人口減少や一極集中が進む中、いかにして地域の潜在成長率を高めるか、アベノミクスによる経済成長戦略の真価が問われている。

自公両党には、中堅・中小企業が直面する人手不足・後継者難などの構造的な課題に対して、より踏み込んだ税制改革や大胆な規制緩和等、地域経済の実情を踏まえた政策をスピード感をもって断行することを望む。

一方、今般の選挙戦では年金問題に端を発した「国民の将来への不安」が大きな争点となったが、長年真の課題として認識されながらも、与野党とも真正面からの徹底した議論が尽くされてきたとは言いがたい。これを機に、令和という時代に適応した新たな社会システムの構築に向け、建設的な議論が尽くされることを期待したい。

令和元年七月二十一日